

当社の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応と影響について

今般、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に感染された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、罹患された皆様の早期回復と一日も早い感染の終息を心よりお祈り申し上げます。

当社では、世界的な COVID-19 の感染拡大、日本政府による COVID-19 の急速な拡大を踏まえた新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言、および該当する都府県から外出自粛要請が出されたことを受けて、感染拡大防止および従業員の安全確保のため、以下の対応を取っております。

- ・ 外出・出張等は原則禁止し、会議や集会は電話・インターネット会議等へ変更、または延期、中止しています。
- ・ 医療機関等への訪問は原則自粛し、訪問が必須な場合には、必ずマスクを着用し、感染拡大防止に努めています。
- ・ 従業員の安全確保のため、自宅で遂行が可能な業務は自宅勤務とし、公共交通機関での通勤者は、時差出勤・時差退社を実施しています。また、従業員またはその同居者に発熱もしくは倦怠感や呼吸困難が継続するものがある場合は自宅待機としています。

このような状況の中、当社では、米国及び日本国内でがん患者に優しい抗がん剤の開発を中断することなく継続しております。

急性骨髄性白血病患者を対象とした DFP-10917 の臨床第 3 相試験は、治験実施施設である米国の医療機関の一部では、COVID-19 に係る治験への影響がでておりますが、影響が少ない区域の医療機関では引き続き治験を進めております。

非小細胞肺癌患者を対象とした DFP-14323 臨床第 2 相試験は、COVID-19 の影響を受けながらも、日本国内の関西地区の治験実施施設で症例登録を完了できました。また、その後の治験継続では被験者や医療機関の感染拡大防止に留意し、最大の注意を払い進めております。

固形がん患者を対象とした DFP-14927 臨床第 1 相試験は、治験実施施設である米国の医療機関で COVID-19 に係る治験への影響がでております。そうした状況下において、段階的に投与量を増量しながら安全性の確認ができており、被験者や医療機関の感染拡大防止に留意し、最大の注意を払い治験を進めております。

また、その他の活動につきましては、日本ケミファ株式会社とライセンス契約を締結した DFP-17729 は臨床第 1/2/3 相試験の準備を開始するとともに、DFP-14323 は日本と中国での臨床第 3 相試験への移行の検討や慢性骨髄性白血病薬イマチニブとの併用に係る特許を台湾に続き日本でも成立いたしました。

Delta-Fly Pharma 株式会社は、引き続き関係機関等からの情報収集を行い、COVID-19 への対応並びに当社事業において必要な対応を速やかに実施してまいります。